

(4) 植生自然度

「第2回自然環境保全基礎調査報告書」(昭和58年、環境庁)に準拠し、調査範囲の現存植生の自然度を区分した。植生自然度区分基準を表5.2.8.7に、各群落の自然度及び占有面積を表5.2.8.8に示す。また、植生自然度を図5.2.8.5に示す。

表 5.2.8.7 植生自然度区分基準

植生自然度	概要	区分基準
10	自然草原 (自然草原・湿原)	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区(自然度9、自然度10は自然性の高さにおいて同じランク)。
9	自然林(極相林またはそれに近い群落構成を示す天然林)	エゾマツ・トドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区。
8	二次林 (自然林に近いもの)	ブナ、ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区。
7	二次林	クレーミズナラ群落、クヌギ・コナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区。
6	造林地	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地。
5	二次草原 (背丈の高い草原)	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原。
4	二次草原 (背丈の低い草原)	シバ群落等の背丈の低い草原。
3	農耕地 (樹園地)	農耕地(樹園地、果樹園、桑畑)
2	農耕地 (水田、畑地)	水田、畑地等の耕作地。緑の多い住宅地(緑被率60%以上)。
1	市街地、造成地	植生のほとんど残存しない地区。

注) 植生自然度とは、植生に対する人為の影響の度合いにより、日本の植生を10の類型に区分したもので、値が小さいほど人為影響の度合いが大きいことを示す。

表 5.2.8.8 植生自然度別占有面積

植生 自然度	凡例	調査範囲		実施区域		実施区域の周辺地域	
		面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
7	エノキ群落	0.31	0.09			0.31	0.11
	竹林 (マダケ)						
5	ヨシ群落	13.23	3.76	0.67	0.98	12.56	4.41
	オギ群落						
	マコモ群落						
	ミクリ群落						
	ススキ群落						
	メダケ群落						
	クズ群落						
	沈水植物群落						
4	ヤナギタデ群落	4.32	1.23	1.42	2.06	2.90	1.03
	コセンダングサ群落						
	メヒシバ-エノコログサ群落						
	休耕田雑草群落						
	湿生草本群落						
3	植栽樹種群	2.68	0.76			2.68	0.94
	果樹園						
2	畑地	181.65	51.56	47.53	69.09	134.12	47.41
	水田						
	人工草地						
	公園・グラウンド						
	社寺林・緑の多い住宅地						
1	住宅・構造物	139.60	39.63	18.29	26.58	121.31	42.72
	道路・新幹線						
—	開放水面	10.50	2.98	0.89	1.29	9.61	3.38
	合計	352.29	100	68.80	100	283.49	100

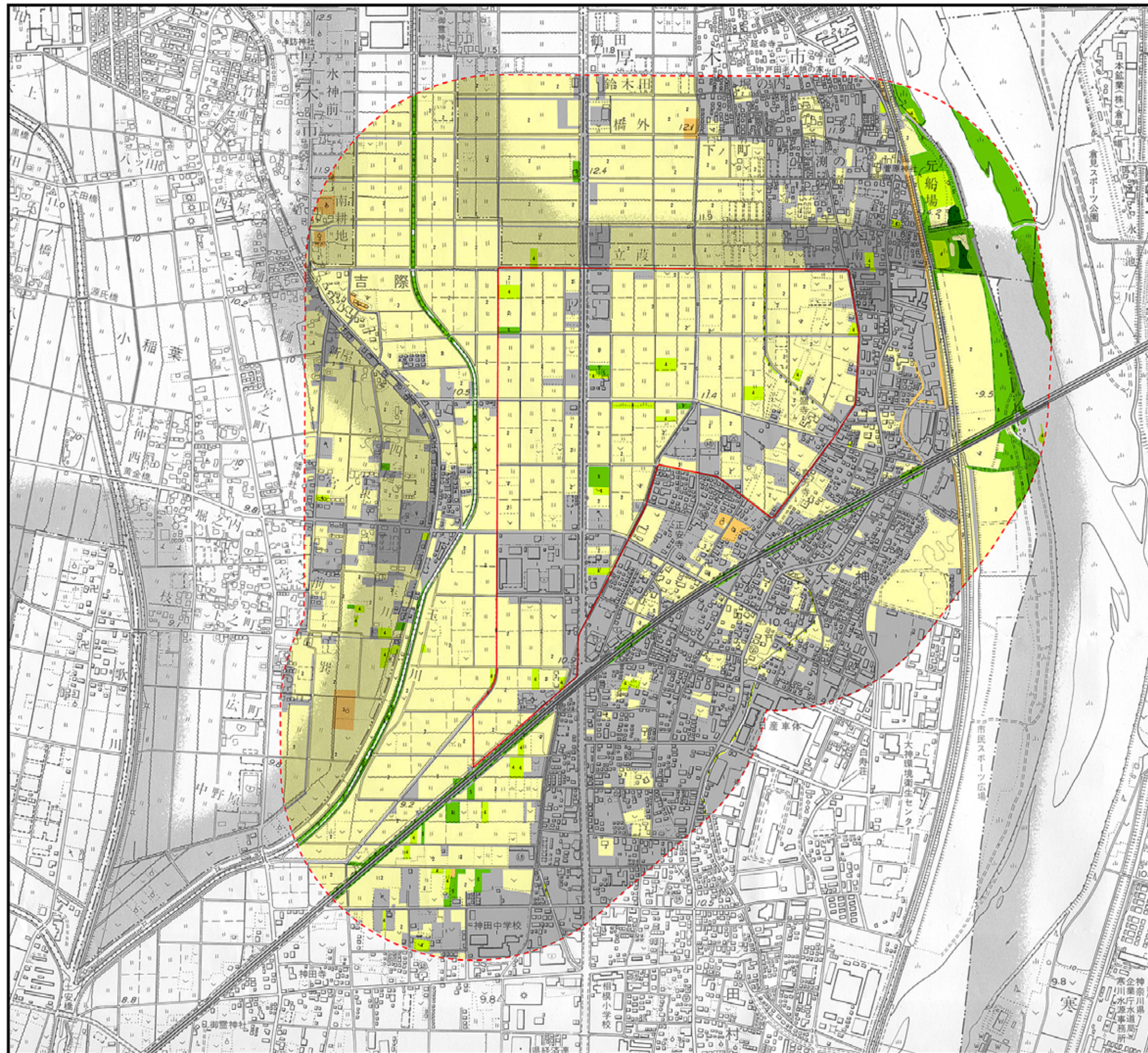
注) 1. ミクリ群落、沈水植物群落については、本来は自然度の高い立地に成立する群落であると考えられるが、調査範囲内では人工的な環境下での確認に止まったため、自然度5に区分した。

2. 表中の数値は四捨五入しているため、合計値が一致しない場合がある。

調査範囲の主な土地利用は水田を中心とした農耕地と、国道 129 号及び東海道新幹線沿線に広がる市街地である。

そのため、植生自然度 2 に区分される畑地や水田、人工草地等及び植生自然度 1 に区分される住宅・構造物等の占める割合は、それぞれ約 52%、約 40%と高く、調査範囲の 9 割以上が植生自然度 2、あるいは植生自然度 1 に区分される結果になった。

また、自然度が高い群落（植生自然度 8、9、10 に該当するような群落）に区分される群落はなく、相模川河川敷や笠張川といった河川周辺等に自然度 7 に区分される二次林（エノキ群落：0.09%）や、自然度 5 に区分される二次草原（ヨシ群落、オギ群落等：3.76%）が小面積に分布する状況であった。



凡 例

- 実施区域
- 調査範囲

自然度

7	エノキ群落
	竹林 (マダケ)
5	ヨシ群落
	オギ群落
	マコモ群落
	ミクリ群落
	ススキ群落
4	メダケ群落
	クズ群落
	ヤナギタデ群落
	コセンダングサ群落
3	メヒシバ・エノコログサ群落
	休耕地雑草群落
	湿生草本群落
2	沈水植物群落
	植栽樹種群
1	果樹園
	畑地
	水田
	人工草地
0	公園・グラウンド
	社寺林・緑の多い住宅地
1	住宅・構造物
	道路・新幹線
0	開放水面



Scale=1:10,000



図5.2.8.5
植生自然度図